

# JSQCニュース No.192

発行 社団法人 日本品質管理学会 東京都杉並区高円寺南1-2-1 (株)日本科学技術連盟東高円寺ビル内 電話 03(5378)1506

## ICQ'96—YOKOHAMAを終えて

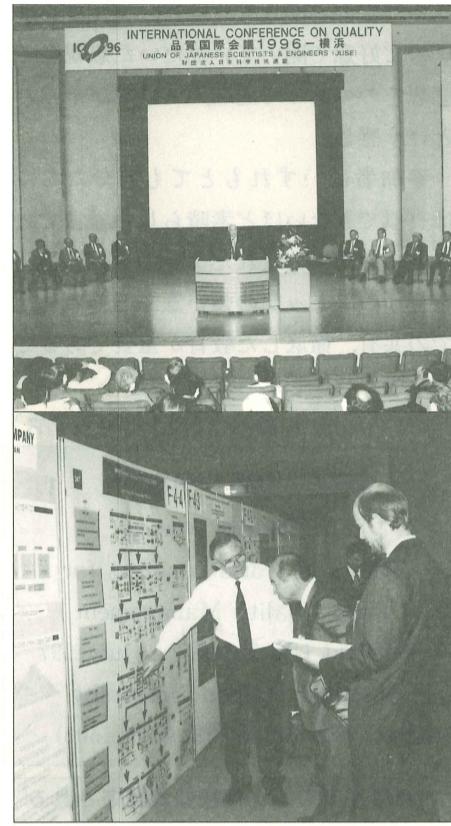
日本科学技術連盟主催によるICQ'96—YOKOHAMAが、「品質—21世紀への鍵(QUALITY-Key for the 21st Century)」というテーマで、1996年10月15日～18日にパシフィコ横浜会議センターで開催され、盛況裡に終了した。ICQ(品質国際会議)は、1969年に第1回がICQとして東京で開催され、3年に一度、日本(日科技連、JUSE)、米国(ASQC)、欧州(EQ)の順で開催され、日本での4回目となる。今回は、当学会が主催するAQS(アジア品質シンポジウム)が同時に合同の形で開催されたことが特筆される。AQS参加者は、この合同形式が大変成功であったと評価していたが、これについては別に報告があるので、ここでは、ICQ全般について、印象を述べたい。

### 41か国・780人・200論文

わが国の景気の低迷や円高のせいで、当初は国内外からの参加者が十分に集まるかどうか心配されたが、主催者・事務局の頑張りをはじめ、関係者の協力もあって、41か国から780人の参加、論文も口頭発表134件・ポスター発表68件の合計202件と大盛況であった。パシフィコ横浜会議センターの施設も立派で、港みらい21の周辺環境もよく、海外からの参加者は、会議内容や運営に十分に満足したと評価していた。

### プログラム概要

初日のオープニングセッションとパネル討論、2日目と3日目3時までの5つの口頭発表セッションの広い会場でのポスターセッションの平行開催、3日目3時からのクロージングセッションが主要



なプログラムであった。また、前日の国際品質アカデミー(IAQ)によるワークショップとレセプション、最終日のフェアウェルバーンケット、翌日の6か所の工場見学会といずれも充実した企画であった。

### 基調講演と特別講演

当学会の久米均元会長と米山高範前会長の基調講演と特別講演ほか4件の特別講演があり、いずれも格調の高いものであった。FPL(フロリダ電力)の議長兼CEOのMR.Broadheadは、デミング賞受賞後の品質経営の発展を情熱をもって語った。受賞後のさらなる発展を目指して、TQCの導入で養った従業員の問題解決能力などの基盤の上に、ビジョンと戦略を

筑波大学 吉澤 正

見直し、ベンチマーク、創造性と技術の重視、権限委譲とアカウンタビリティの明確化、品質の推進と再認識などの充実を計ってきた経緯は、聴衆に感銘を与えていた。また、日産自動車の辻義文社長は現在進めつつあるTQMの導入の経緯や考え方を率直明快に話され、印象的であった。また、海外からの参加者の数名から大変参考になりよい講演だったとの評をきいた。

### 好評のポスターセッション

今回は、初めからポスターセッションを計画し、それへの応募も募ったが、約70件という多数が参加した。とくに2日目は多数の参加者が入り、発表者との活発なやりとりがあった。当学会品質教育研究会からは、ポスターに1件(電気通信大学椿氏ほか)、口頭で2件(明治大学大滝氏と群馬高専下田氏)の成果報告を行ったが、教育の口頭発表セッションよりポスターの方が参加者が多かったほどである。ポスターセッションでは、パソコンソフトや教材の展示があつたり、東京電力や竹中工務店の環境マネジメントなど新しい分野の発表やきれいなポスター展示、それにきめ細かい説明や親密なやりとりが行われた。ポスターセッションは大好評であった。

### おわりに

国際会議の企画・運営などについては、将来のための建設的な意見も聞かれたが、国際会議がますます多くなる昨今であるので、今後に生かしていきたい。全体として、大成功であり、関係者の努力に感謝して、報告とする。

### 第26年度新役員決まる 新会長に鷲尾泰俊氏

第26年度の新役員が通常総会において次のとおり選出承認された。以下敬称略  
会長 鷲尾泰俊(新潟国際情報大学教授)  
副会長 藤田史郎(NTTデータ通信㈱会長)  
副会長 谷津 進(玉川大学教授)

理事 ○秋葉孝次郎(富士ゼロックス㈱理事)、○天野益夫(愛知製鋼㈱相談役)、○磯貝恭史(大阪大学助教授)、○圓川隆夫(東京工業大学教授)、○神田範明(成城大学教授)、○小宮忠志(㈱豊田自動織機製作所取締役)、○篠崎信雄(慶應義塾大学教授)、○相馬義人(㈱日本科学技術連盟特命嘱託)、竹下正生(㈱日本規格協会所長)、○中條武志(中央大学教授)、○新田 充(東電工業㈱取締役)、○松嶋敏泰(早稲田大学助教授)、松原 徹(㈱ダイキ取締役社長)、○宮川雅巳(東京大学助教授)、○持本志行(朝日大学教授)、○山本

勝巳(NTTデータ通信㈱室長)、○横山真一郎(武藏工業大学教授)  
監事 ○牟田弘樹(日本電気ファクトリエンジニアリング㈱取締役)、○高橋武則(東京理科大学教授)

### 名誉会員に笹岡健三氏

去る10月26日に行われた第26回通常総会において、笹岡健三氏(日本ヒューレット・パッカード㈱相談役)が名誉会員に推薦された。

### 「論文奨励賞」「品質技術賞」受賞者

第25年度「論文奨励賞」1件および「品質技術賞」3件が、第287回理事会および第52回評議員会を経て受賞が決まり、通常総会において表彰された。

### 「論文奨励賞」

川崎英海氏(東京理科大学)

「繰返しのない3元配置における3因子交互作用の検定」

### 「品質技術賞」

(1)津田靖久氏(日産自動車㈱)

「二階建て式品質表によるコンカレントエンジニアリング開発」

(2)相沢健実氏・武智伸夫氏(秩父小野田㈱)

「計測器のトレーサビリティ確保に向けたカルマンフィルターの適用」

(3)吉野 瞳氏・竹中 修氏

(日本電装㈱現デンソーソ)

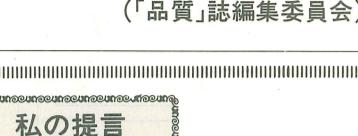
「車載用電子製品のはんだ付工程における工程条件最適化検討への品質工学の適用」

### 年度会費『自動払い込み』のお薦め

この度当学会では、第26年度から会費の郵便局『自動払い込み』が利用できるようになりました。一度手続きをされるとその後の手続きは不要となります。郵便局に口座が必要の他は、払い込み手数料も25円となっており、手続きは簡単です。本部事務局まで連絡いただければ、申込書を送付いたします。是非ご利用下さい。

### 「品質」誌、投稿論文の募集!

会員の方々より、研究論文を積極的に投稿されるように、お勧めいたします。  
(「品質」誌編集委員会)



### データベースの話

大阪大学助教授 磯貝恭史



ここ数年来、各企業で企業活動に関する情報のデータベース化が進んできているが、できあがったデータベースの有効活用については、著者も統計学者の一人として並々ならぬ関心を抱いてきた。というのは、データベースの解析の道具の多くのものが統計解析法であり、なかでもよく利用されてくるものは、クラスター分析法(決定木)など、判別解析法(ロジスティック判別、ニューラルネットなど)、重回帰分析法等の多変量解析手法で、データベースの解析は解析者の個人的な資質に大きく依存しているように見える状況であった。

ところが、先日、角 重喜氏(日立ハイソフツ(株))に伺った情報によると、産業界におけるデータベースの解析が専門家によらなくとも、ソフトウェアが大量データの中から自動的に法則や意味のある情報を取り出すようになってきているそうである。こういった一連の手法はデータ・マイニングと呼ばれていて、製造業ばかりでなく、流通、金融、情報産業などの分野でのデータベースの活用にも大きく貢献しそうである。

データベース自体の新しい動きとしては、最近、地理情報システム(GIS)が話題となっている。地図情報に加えて、各地域での商品の流れ、顧客の動向、物価および土地価格の変動、競合相手の動向などの情報をリンクさせることにより、マーケティング活動に利用が期待され、今後、導入する企業が増えると思われる。解析のための方法論としては、空間データの統計解析法があり、多変量解析法と大変関係が深い。

データベースに取り込まれるデータの情報の質としては、曖昧であっても、ある意味でそのデータの情報は正しいことが前提とされてきたが、少々の矛盾を含んだデータをデータベースにいれても、その矛盾を摘出するような方法論があることを、宮下文彬氏(関西大学教授)に教えて頂いた。早速、調べたところ、その理論はラフ集合理論と呼ばれるもので、人工知能の学習と推論の基礎理論として研究されてきている。我々の製造業の立場で話をすると、様々な経験則をデータベースに入れると経験則から矛盾を含んだ部分の摘出と無矛盾な論理形式の確立に利用できそうである。

## 第26年度組織および担当一覧表

選 挙 管 理	藤田※, 篠崎, 山本, 神田, 小宮(中), 磯貝(西), 相馬
庶 务	篠崎※, 山本
(会員)・資格審査	新田※, 秋葉, 持本(中), 松原(西),
規 定	竹下※, 横山,
会計・(予算)	相馬※, 篠崎, 秋葉
行 事	神田※, 中條, 松嶋, 山本, 横山, 小宮(中), 磯貝(西), <他行事委員長が任命>
編集(含論文審査)	Aグループ 圓川※ 中條, <綾野>, <飯田>, 磯貝, <兼子>, <鈴木和>, <鈴木秀>, <椿>, <長沢>, <仁科>, 松嶋, 宮川, <宮村>, <山田> Bグループ 圓川※ <西原>, 秋葉, <安藤>, <上田>, <加藤>, <五味>, <高須>, 新田, <野木>, <福田>, <山田> 副
ニ ュ ー ズ	鷲尾※ 圓川, (理事・編集10名以内) 副
論文奨励賞選考	鷲尾※ 圓川, (理事・編集10名以内)
品質技術賞選考	鷲尾※ 圓川, (理事・編集10名以内)
国 際	谷津※, 横山, 中條, 持本(中), 磯貝(西),
長 期 計 画	鷲尾※, 藤田, 圓川, 神田, 篠崎, 宮川, 新田, 山本, 天野(中), 松原(西), 米山
研 究 開 発	宮川※, 新田, 持本(中), 磯貝(西), 神田, 赤尾, 吉澤
日本学術会議経営工学研究連絡委員会	<赤尾>, <吉澤>, (任期3年, 平成9年10月まで)
経営工学関連学会協議会(FMES)	篠崎, 松嶋, <吉澤>
代議員会	
経営工学研究連絡協議会シンポジウム実行委員会	篠崎, 松嶋, <吉澤>
中 部 支 部	天野(支部長), 小宮, 持本 (中)中部支部 (西)関西支部
関 西 支 部	<山中> (支部長), 磯貝, 松原

### 第4回ヤング・サマー・セミナールボ

ヤング・サマー・セミナーは、品質管理や応用統計などの分野において興味あるテーマや自分たちが直面している問題を中心に勉強・議論し自己研鑽・相互啓発する場として、そして同時に若手の会員の交流・親睦をはかる場を提供することを目的に開催されている。このヤング・サマー・セミナーは武蔵工業大学の兼子毅氏が中心となって始まり、平成5年から毎年行われており、参加者は原則として35才以下の正会員・準会員で構成されている。今年で第4回となるヤング・サマー・セミナーは平成8年8月27日と28日の両日にいすゞ自動車㈱のご厚意により同社の保養所フォレスト箱根で行われた。参加者は合計22名（企業から5名、学生9名、大学教員8名）であった。今回の特徴は、初めて日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本経営工学会からの参加があったことである。

初日は、4件の招待講演が行われた。最初にSASジャパン岸本淳司氏から「モンテカルロシミュレーションによる統計解析」の題目で講演が行われた。次に東京大学宮川雅巳氏から「グラフィカル・モデリング」についての講演が行われた。さらに、OR学会の流通経済大学片山直登氏から「ネットワークデザイン問題：緩和問題の解法とメタ解法」という題目で講演が行われた。初日の最後は、経営工学会の青山学院大学玉木欽也氏から「戦略的生産システム：生産情報管理」という題目で講演が行われた。初日の夜には懇親会が行われ、カラオケ等で参加者の親交を深め、研究内容に関する議論など

で非常に有意義な時間を過ごした。

2日目には企業の若手研究者と大学院生による4件の研究発表が行われた。最初に青山学院大学永易雅文君の「学習支援システムにおける事例に基づく教材構造と学習者モデルの構築—QC教育を対象として」の題目で研究発表が行われた。その後、東京大学西康晴君による「システムテストの設計」の研究発表、㈱TDK広瀬徳和氏による「TDKにおけるSQC教育」の研究発表、そして最後に㈱富士通山根徹氏により「お客様不満足度の解析」の発表が行われた。

鈴木知道 (東京大学)

### 第219回事業所見学会(本部)千葉夷隅GCルボ

今回はCS経営を実践しているユニークな事業所を見学しようという考え方から、見学会としても異例なゴルフ場見学となった。この事業所は立地が悪い中で集客力を上げ、経営を改善するために顧客満足を重視する経営を徹底し、成果を上げていることで有名なゴルフ場である。今年発足した日本経営品質賞に挑戦しているという噂も聞く。

当日は折りからの猛暑の中、実際にプレーを体験する参加者20名、見学だけの参加者9名が全員予定どおり集合。欠席者なしは珍しいとは事務局の話。初めに全員が加藤正重総支配人から約一時間の講演をいただく。

ユーモアたっぷり迫力満点のお話に一時間は瞬く間に過ぎる。生産イコール消費となる接客サービスの品質管理の特異性、むつかしさ、それを具現化するためには整備していったお客様の行動に合わせた従業員の工程図、その各工程での従業

員の行動マニュアル、それらを常に改善するためのPDCAサイクルの回し方、そしてそのような仕組みを支える全従業員への徹底した教育、(経営方針を全員が毎年書き記すテストがある！)

講演のあとプレーをしない人は場内を見学、コースを一巡した後、質疑応答をし、レストランで食事をしてここでのサービスを実体験して帰途についた。

プレーをした人は過密スケジュールですぐにプレーにはいり、キャディーとコース維持の素晴らしい、それにレストランや浴室の心配りも体験し、ゴルフクラブのご好意で開いていただいた懇親会で感想をのべあって送迎バスに飛び乗ったという感じ。

参加者はいずれもとても自分たちには真似できないほど素晴らしい経営であるとの感想を持たれたようです。CS経営を行うにはトップの強い意志とその全社での共有、徹底した教育が重要であることを強く認識した一日でした。

加藤治信(富士ゼロックス)

### CALL FOR PAPERS

#### The Quality Journey

The 2nd world congress for

Total Quality Management

Sheffield UK 30June - 2 July1997

Sheffield Hallam University

詳細は、本部事務局 (03-5378-1506) へ

### 1996年度デミング賞授賞式開催される 一本賞は笹岡健三氏が受賞

日本科学技術連盟は、1996年度のデミング賞および日経品質管理文献賞受賞者を発表し、授賞式が11月18日大手町経団連会館で挙行された。

### □デミング賞本賞

笹岡健三氏 (日本ヒューレット・パッカード  
輪相談役・当学会第21年度会長)

### □デミング賞実施賞

アイシン辰栄株  
安藤電気㈱  
コニカ㈱日野生産事業部  
日本電気無線電子㈱  
富士写真光機㈱

### □デミング賞事業所表彰

日産自動車㈱板木工場

### □日経品質管理文献賞

「ISO9000とTQC再構築ISO9000シリーズを超えて」飯塚悦功著  
「人間信頼性工学入門」塙見 弘著  
「TQCを活用した新製品開発—全部門参加型のシステムの構築」東岡卓三著  
「ソフトウェア品質保証の考え方と実際—オープン化時代に向けての体系的アプローチ」保田勝通著

### 品質管理関係の新刊、近刊書紹介

#### 【日本規格協会】問合せ先

営業部業務課 TEL.03(3583)8002

FAX.03(3583)0462

①明日を変える事務と事務部門の革新

山田明浦編 2,884円 H8.6月刊

②品質管理入門テキスト

奥村士郎著 2,060円 H8.9月刊

③ザ・カイゼン再構築と活性化—

濱川泰博著 1,751円 H8.10月刊

### ④TQMの浸透で企業革新

朝香鐵一著 2,266円 H8.11月刊

### ⑤信頼性工学入門 (改訂版)

真壁 肇著 2,168円 H8.11月刊

### ⑥国際化時代の社内標準化

梅田政夫著 2,369円 H8.10月刊

### 【日科技連出版社】問合せ先

業務本部販売管理G TEL.03(5379)1238

FAX.03(3356)3419

### ①TQM時代の戦略的方針管理

飯塚悦功監修/長田洋編著 2,600円 H8.4月刊

### ②TQMによる魅力ある企業づくり

伊藤清著 2,000円 H8.6月刊

### ③革新的企業戦略 (増補版)

藤田史郎編著 2,000円 H8.9月刊

### ④5Gセンサードラム

古畑友三著 1,854円 H8.10月刊

### ⑤統計的方法のしくみ

—正しく理解するための30の急所

永田靖著 2,575円 H8.10月刊

### ⑥ソフトウェアISO9000-ソフトウェア品質システム審査登録ガイド

飯塚悦功監修 5,768円 H8.10月刊

## 1996年9・10月の入会者紹介

1996年9月18日および10月9日の理事会において、下記のとおり、正会員32名、準会員3名、賛助会員2社2口、公共会員1口の入会が承認された。

公共会員1口の入会が承認された。

(正会員) 32名 (敬称略)

○西村明吉 (ナブコ), ○森 正三 (太陽工業), ○栄 輝之 (トヨタ自動車), ○峰岸健二 (トヨクニ電線), ○宮脇昭弘 (名古屋品証研), ○熊 克俊 (中国広東深圳市質量管理協会), ○佐々木稔 (日本化学工業), ○本橋 健エドアルド (東海大学), ○加藤清久 (鹿児島日本電気), ○大場武, ○大林誠一 (ヤマギワ), ○荒田宏二 (日本アイ・ビー・エム), ○佐藤 工 (日本電気), ○若山博雄 (大日本インキ化学工業), ○豊福俊泰 (九州産業大学), ○稻場 訓 (小松フォーカリスト), ○須崎弘義 (住友建機), ○土井俱之 (フジミコンサルタント), ○西良浩一 (シャープ), ○鈴木 浩 (日本電気精器), ○大野昌文 (ナブコ), ○山下勝利 (東洋情報システム), ○岡橋充明 (和歌山大学), ○比留間英吉 (富士重工業), ○神山增己・山中喜代治 (松下电工), ○線谷倫子 (ニッカウヰスキー), ○広瀬忠勝 (神鋼パンテック), ○一瀬正隆 (旭硝子), ○大山耕二 (東亜電気工業), ○横江喜夫 (イサム塗料), 江崎通彦 (朝日大学)

(準会員) 3名

○森部陽一郎 (近畿大学), ○羽生田和志 (早稲田大学), ○坂井日美子 (東京大学)

(賛助会員) 2社2口

○エス・バイ・エル (取締役社長 中島昭午), ○松下電工 (代表取締役専務 山中喜代治)

(公共会員) 1口

○大阪工業大学図書館 (館長 福田 譲)

10月9日現在の会員数

正会員: 2977名

準会員: 37名

賛助会員: 237社, 262口